

# 中越地震災害派遣活動を語る モーニングセミナーで防災講話



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）長岡出張所（所長 1陸尉 中土井厚志）は、10月20日（火）長岡グランドホテル（長岡市）で実施された長岡市倫理法人会モーニングセミナーにおいて防災講話を実施しました。これは、10月23日で中越地震発生から16年を迎えることから、長岡市倫理法人会会長遊座 正文（ゆざ まさふみ）氏より依頼を受け、「中越地震を振り返って」の演題で講話を行ったものです。

当日は、朝6時の早朝から会員27名が会場を訪れ、約1時間に及ぶ講話の中で、長岡出張所長自身も中越地震における災害派遣に参加した経験を交え当時を振り返り、災害派遣部隊の行動を説明しました。また、当該地震から得た教訓として平素から避難訓練等による避難場所・経路等の情報共有や各家庭で非常持出袋を常備する等の「物心両面の準備」の重要性に触れました。

講話の後、参加者からは「中越地震の時には、自衛隊に大変お世話になった。特に入浴や食事の生活支援はとてもありがたかった」「地震発生から92時間後に生存者が救出された妙見町の現場を通ると当時の事を思い出して胸が熱くなる」など、当時を思い出した感想を聞くことができました。

新潟地本は、今後もこのような講話の機会を通じてお互いの理解を深め合い、地域の未来のために共に歩んでいきたいと思えます。